

*Building Dignity*

Japan Adventist Academy

三育学院中等教育学校

『 Govern yourself 』

昨年末、私は実家の木を処分するために故郷の鹿児島に帰ってきました。作業を終えて、せっかく鹿児島までいったので、桜島が良く見える「磯海岸」というところに行ってきました。

その砂浜に立った時、そして桜島を海越しに眺めた時に、その場所で53年前にバプテスマを受けたことを思い出しました。

日本三育学院中学校入学のためにあと数日が出発するという安息日に、私はその海でバプテスマを受けたのです。この

場所は、「鹿児島を出ていく、絶対に泣き言は言わない」という誓いを立てた場所でもありました。

そこに再び立ってみた時、「果たして今の自分は、あの時の誓いを果たせているのだろうか」と自問していました。三育の寮生活に入ってくる時には誰も、何らかの覚悟をして入ってきているはずですが、少し時間が経つと、気持ちに揺らぎが出てくるのも事実です。色々な人との出会いや今までの自分の価値観と違う経験を重ねるうちに、自分のそれまでを振り返って、少しの迷いや後悔が出てくるわけです。しかし、この心の揺らぎはとても大切なものなのですが、その時は不安でしかありません。志を持ってそれを大切にしながら頑張っていたとしても、今まで見えていなかった自分の姿や自分に与えられたタラントを他の人と比較してしまって、落ち込んでみたりすることもよくあるものです。しかし、そのもう少し先に大きな変化が現れることになります。そんな自分を受け止めることができた後で、その人らしい人生や個性というものが生まれてくるのです。

私たちは、今何を基準として物事を判断すべきかが分かりにくい時代に生きています。私たちは、自分で自分を統御することが必要なのですが、そのためには判断の基準となるものが重要です。

私は、正月に今年のコトとして「聖書に立ち、自らを統御せよ (Grounded in the Bible, Govern yourself)」という言葉を選びました。Governという言葉は、単なる行動をControlするというのではなく、心の内側の在り方をも含めて、しっかりと根拠を持って判断するという姿勢が含まれているものです。

私たちとここで学ぶ生徒たちは、この日本で、この大多喜の地で、三育学院の中に居ながらにして、あらゆる困難やトラブルに対応していくための鍵をすでに手にしていることとなります。

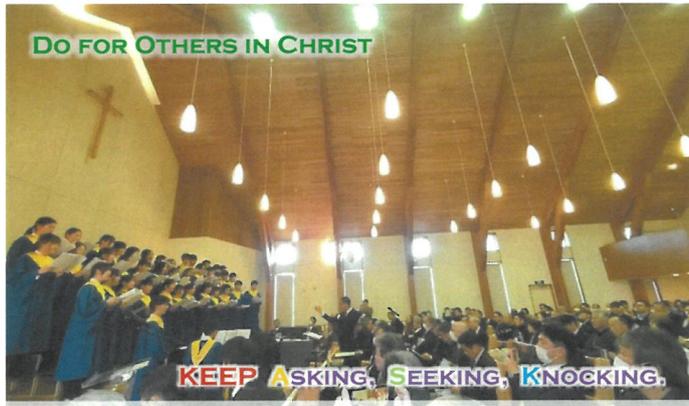
『聖書に立ち、自らを統御する』その様な習慣をここで身につける1年としていきたいものです。第5タームは、一人ひとりが、自分で祈り、変えていただくことを求めていきたいと思います。

校長 尾上 史郎

この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。

Do not conform to the pattern of this world, but be transformed by the renewing of your mind.

ローマ 12章 2節



1/11 アドベンチスト教団総会で聖歌隊がプログラムを担当



*Building Dignity*

Japan Adventist[®] Academy

三育学院中等教育学校

『 217 』

気が付けば、こんなに時が経っていたのかと思わされることが最近ありました。

それが始まったのは、2008年2月のことでした。当時私は、北浦三育中学校の校長として働かせていただいておりますが、その年の1月に三育学院の先輩教員が、若くして病気で亡くなりました。告別式が東京の天沼教会で行われ、北浦三育中学校の聖歌隊が「主イエスのみめぐみ」という讃美歌で特別賛美を担当させていただきました。

(その動画ファイルが2009年に北浦三育中学校40周年記念で作成した「希望の歩み」というCDに収められています。ご希望があれば20枚程残っていますのでお分けできます。)

その直後にセブンスデー・アドベンチスト教団のメディア部からお電話がありました。亡くなったこの先生が、それまで担当して下さっていたラジオ放送の「光とともに」という番組の録音が2月分までしかないので、3月分からは私に担当してほしいという依頼のお電話でした。それは、お困りだろうとは思いましたが、私がおの代わりを務めるというのは経験もなく、かえって迷惑をかけることになるのではないかと躊躇しておりましたが、とにかく急いでいるということで、いつまでということも決めずにとりあえずお引き受けすることになりました。1回2分40秒のラジオ放送の番組をひと月に1回担当するという事になったのです。月に1回だけですから、どうにかなるかと思っておりましたが、1ヶ月というのは、思いのほか早く過ぎていくもので、あっという間に次の放送の準備をしなくてはならない状況が続いていくこととなりました。

そして、今月の録音を最後に、ついに次世代の教員にバトンタッチすることが決まりました。これまで書いてきた録音原稿に通し番号をつけてきたのですが、この3月用の録音原稿は、「217番」でした。あれから、217ヶ月も経ってしまったということです。18年と1カ月、教育や子育てと聖書に関することをテーマに続けてきましたが、第1回からすべての録音をメディアセンターが丁寧に編集をしてくださって、音声データも残っていますので、何らかの形で三育教育を知っていただくことに活用できないかと考えているところです。18年前の2月というのは、まだ日本にiPhoneがありませんでした。そう考えると時代は、大きく変わってきています。私自身もこの間に北浦から、広島、横浜、大多喜へと移り住んできましたし、父親が亡くなったり、中学生だった子どもたちが結婚して親となるなど、個人的にも大きな時の流れを感じます。

新しいことに挑戦すると同時にどんなに時が流れても変わってはいけないものを大切にする。その精神を失わない学校。三育学院こそ、そのような学校でありたいと願います。校長 尾上 史郎

「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。」

ヘブル13章8節

